

# 令和5年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字を正しく書き、長音、拗音、促音、助詞を正しく書くことが十分ではない児童が多くいる。</li> <li>・考えを言葉にして書いたり、発表したりできない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文指導や授業を通して、書く機会を増やし、その都度繰り返し指導していく。</li> <li>・発表の場面を増やし、考えを交流する場面を作る。個別に指導をし、できた経験を増やしていく。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題から正しく立式をすることができない。</li> <li>・自分の考えを具体物や図、文を使って説明することができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の様子を絵や図に表して「増える・減る」の意味理解がしやすいようにする。</li> <li>・図のかき方や「まず」「つぎに」と分かりやすく説明する言葉を学習し、答えだけではなく根拠を説明する。</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や生き物に触れ、関心を持つことはできたが、気付きをもつことができない児童がいる。</li> <li>・通学路探検や公園での遊びを通して、地域に目を向けることができつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や生き物を育てることを通して、成長の様子に関心を持ち、継続して観察を行う。よい気付きを共有したり、視点を与えたりしていく。</li> <li>・上級生や保育園・幼稚園の子や地域の方との交流を通して、社会の一員であることを理解させる。体験活動を通して、人と積極的に関わっていく場面を作る。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい歌に入る時、ひらがなの歌詞を追えず、中々覚えられない児童がいる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの指使いが苦手な児童がいて個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を先導して、指と目と耳で新曲に慣れさせ、楽しい歌のレパートリーを増やしていく。</li> <li>・友達と教え合う先生ごっここの場面を設定したり合格シールで意欲を高めたりして、自信を付けるようにする。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手や指先を十分に働かせることができず、細かい部分まで丁寧に塗ったり、切ったりすることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の使い方の確認をして、スモールステップで練習する活動を設定する。</li> <li>・はさみやのりについては、日常生活の中の様々な場面で使い、経験を積んでいくようにする。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の良い動きに気付き、動きをまねしようという意識が低い。</li> <li>・動きを工夫して洗練された動きをしようとする意欲が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が積極的に良い動きをしている児童を賞賛し、手本として共有する。</li> <li>・授業の終末に児童間で見つけた「友達の良かったところ」を発表する時間を設ける。</li> <li>・いろいろな運動を経験させ、動きの基礎感覚を養わせる。上手くいった動きを児童から引き出し動きの幅を広げる。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。